

1. インストラクター検定

受験資格	種目	斜面	実技の内容	評価の基準	受験資格	受験料	公認料	年次登録料
インストラクター	実践種目			・検定員は協会普及員及びデモンストレーター1名とインストラクター2名の合計3名 ・検定員は2年以内に協会主催の研修会の出席者 ・1種目最大100ポイント×8種目 ・取得ポイントは3名の平均 小数点以下は四捨五入 ・640ポイント以上合格(80%以上) ・線上げ合格は3ポイント以内で認める ・線上げ合格は指導種目の2種目以上が合格に満たない場合は認めない ・理論適正は70%以上の適合により合格とする ・合否判定は実技と理論の双方の合格により判定	・受験時に21歳以上であること ・JGSA会員であること ・アシスタント取得者 ・アシスタント取得の次年度以降である ・本協会より特別に推薦を受けたもの ・1.5時間以上の事前講習の修了者	5,000	5,000	5,000
	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン					
	パラレルターン ミドル	緩～中斜面	状況に対応した運動の途切れのないミドルターン					
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズムカルなショートターン					
	フリー滑走	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン					
	ゲート滑走 (8～10ゲート)	緩～中斜面	ゲートの設定に配慮したスムーズなミドルリズムのターン					
	指導種目							
	ワイドスタンスターン	緩～中斜面	伸ばし荷重を活用した完成度の高いターン					
	クローズ&ワイドスタンスターン	緩～中斜面	伸ばし荷重を活用しターン弧確実にコントロールしたターン					
	スケーティングターン	緩～中斜面	内足への重心移動とリズムカルなステップを活用したターン					
	理論適正							
設問10題の記述式による解答			グラススキー普及に関するステップアップ及び一般知識から出題					
アシスタント インストラクター	実践種目			・検定員は本協会登録のインストラクター3名 ・検定員は2年以内に協会主催の研修会の出席者 ・1種目最大100ポイント×8種目 ・取得ポイントは3名の平均 小数点以下は四捨五入 ・600ポイント以上合格(75%以上) ・線上げ合格は3ポイント以内で認める ・線上げ合格は指導種目の2種目以上が合格に満たない場合は認めない ・理論適正は70%以上の適合により合格とする ・合否判定は実技と理論の双方の合格により判定	・受験時に20歳以上であること ・JGSA会員であること ・ファーストクラス取得者 ・本協会より特別に推薦を受けたもの ・1.5時間以上の事前講習の修了者	5,000	3,000	4,000
	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン					
	パラレルターン ミドル	緩～中斜面	状況に対応した運動の途切れのないミドルターン					
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したリズムカルなショートターン					
	フリー滑走	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン					
	指導種目							
	ワイドスタンスターン山回り 左右(曲げ荷重)	緩斜面	荷重動作とターン運動が曲げ荷重で確実に表現されたターン					
	ワイドスタンスターン山回り 左右(伸ばし荷重)	緩斜面	荷重動作とターン運動が伸ばし荷重で確実に表現されたターン					
	スケーティング山回り 左右	緩斜面	内足への重心移動を伴うステップ動作によるターン					
	フリー滑走 (スピードコントロール)	緩～中斜面	明確な運動でターン弧スピードを一定に保って滑る					
	理論適正							
設問10題の記述式による解答			グラススキー普及に関するステップアップ及び一般知識から出題					

2. オフィシャルテスト

テストクラス	種目	斜面	実技の内容	評価の基準	受験資格	受験料	公認料	会員登録
ファーストクラス	パラレルターン ロング	中斜面	状況に対応したスピーディーなロングターン	・検定員2名(1名はアシスタント可)の判定テスト ・1種目最大100ポイント×5種目 ・取得ポイントは2名の平均 小数点以下は四捨五入 ・350ポイント以上合格(最大の70%)	・セカンドクラス取得者 ・中学生以上 ・Jr.テストファーストクラス取得者	3,000	1,500	一般2,000 小中高1,500
	パラレルターン ミドル	中斜面	状況に対応した運動の途切れのないミドルターン					
	パラレルターン ショート	中斜面	状況に対応したリズムカルなショートターン					
	フリー滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン					
	ゲート滑走 (6～8ゲート)	中斜面	ゲートの設定に配慮したスムーズなミドルリズムのターン					
セカンドクラス	パラレルターン ロング	緩～中斜面	状況に対応した安定感のあるロングターン	・検定方法はファーストクラスに順ずる ・1種目最大100ポイント×4種目 ・260ポイント以上合格(最大の65%)	・中学生以上 ・Jr.テストファーストクラス取得者	2,000	1,000	
	パラレルターン ミドル	緩～中斜面	状況に対応したコントロールされたミドルターン					
	パラレルターン ショート	緩～中斜面	状況に対応したバランスの良いショートターン					
	フリー滑降	総合斜面	状況に対応したリズム変化を伴う総合ターン					
サードクラス	パラレルターン ロング	緩斜面	状況に対応した安全なバランスのロングターン	・検定員1名(アシスタント可)の講習内テスト ・1種目最大100ポイント×3種目 ・180ポイント以上合格(最大の60%)	・中学生以上 ・Jr.テストファーストクラス取得者	1,500	800	
	パラレルターン ミドル	緩斜面	状況に対応した自発的な運動によるミドルターン					
	フリー滑降	総合斜面	状況に対応した安全なバランスの総合ターン					

3. ジュニアテスト

テストクラス	種目	斜面	実技の内容	評価の基準	受験資格	受験料	公認料	ステッカー追加
Jr.ファーストクラス	1. スケーティングターン	緩斜面	内足への重心移動を伴う連続ターン(3ターン以上)	・インストラクターによる講習内テスト ・実技内容に到達しているかどうかを ×で判定 ・に到達した項目が7項目中5項目で合格 ・×の項目のみ後日再テスト可能	・中学生以下 ・Jr.テストセカンドクラス取得者	1,500	1,000	500
	2. 後ろ向き斜滑降	緩～中斜面	視線・上体の安定感を伴う確実な斜滑降					
	3. 斜滑降連続ジャンプ(マーカーに合わせる)	緩～中斜面	目標に合わせたタイミングと空中での安定したバランス					
	4. パラレルターン ロングリズム	緩～中斜面	運動が伸びやかでスムーズな流れのロングターン					
	5. パラレルターン ショートリズム	緩～中斜面	ストックワークと脚部が運動したバランスの良い滑り					
	6. 規制コース連続滑走(マーカー8～10個)	緩～中斜面	マーカーの設定に合わせた確実なライン取りとバランス					
	7. リズム変化滑降	緩～中斜面	状況に対応した確実なリズム変化を伴う滑り					
Jr.セカンドクラス	1. スケーティング山回り	緩斜面	内足への重心移動を伴う確実なステップによる山回り	・アシスタント及びインストラクターによる講習内テスト ・実技内容に到達しているかどうかを ×で判定 ・に到達した項目が6項目中4項目で合格 ・×の項目のみ後日再テスト可能	・中学生以下	1,500	900	500
	2. 斜滑降連続ジャンプ	緩～中斜面	大きな運動と思い切りのよいジャンプ動作					
	3. パラレルターン(ナチュラルスタンス)	緩～中斜面	両スキーのエッジを確実に切り換えるパラレルターン					
	4. スtockワークと滑りが上手くあっている。	緩～中斜面	上体と脚部の運動のバランスを確実に表現する					
	5. ワイド&クローズターン	緩～中斜面	外スキーの押し出しによるターンとクローズスタンスでの切り換え					
	6. 規制コース連続滑走(マーカー6～8個)	緩～中斜面	目標に合わせてターンをコントロールしながら連続ターン					
Jr.サードクラス	1. スtockを活用した推進滑走	平地	ストックで漕ぎ動作と両足に荷重する動作を表現する	・アシスタント及びインストラクターによる講習内テスト ・実技内容に到達しているかどうかを ×で判定 ・に到達した項目が5項目中3項目で合格 ・×の項目のみ後日再テスト可能	・中学生以下	1,500	800	500
	2. 安全に配慮してリフトに乗車	平地	安全確認をしてリフトに乗る手順を確実にマスターする					
	3. 滑走しながら方向を変えて停止	緩斜面	踏み換え・ワイドスタンスのターンのいずれかで山回りから停止する					
	4. 平地で8の字滑走(マーカー使用可)	平地	目標に合わせてスキーを滑らせながら移動する。					
	5. ワイドスタンスで連続滑走(2ターン以上)	緩斜面	バランスを維持しながらゆっくりと滑走方向を変化させる					